

KASAOKO NEWS+

笠岡工業高校
情報新聞
No.003
2021.6.16

金八先生は言いました 「人」という漢字は 互いに支えあっているって…

昔、東京都の桜中学校3年B組担任の坂本金八先生は、「人」という漢字は、互いに支えあっているって言われました。でも、どう見ても背の高い人が倒れないように、背の低い人が必死に支えているようにしか見えません。これって親が大きく育った子どもを必死に支えているように見えます。最近では80歳の親が50歳の子どもの生活を支えている8050問題という社会問題があります。人は必ずどこかで人に支えられて生きています。しかし、諸事情がなければ、いつまでも人に支えられてはいけません。色々な経験を積んで、人を支えられるだけの技量を身に付けることが大切です。今、みなさんは工業の知識や技術だけではなく、社会常識や人間関係まで多くの事を学んでいます。しっかり学んで、将来多くの人を支えられる人になりましょうね。

中庭を改修しています

みなさん！知っていますか？教室から見える中庭が壊れていることを。最近では噴水の周囲のブロックが壊されています。とは言っても、犯罪ではありません。土木研究部が老朽化して壊れている噴水の周囲を分解して修理しているのです。土木業者に依頼すると何百万円もかかる作業を土木研究部が請け負っているのです。スゴくないですか？授業で学んだ知識と技術を使って、活動をしています。運動部とは違って大会はありませんが、未来の笠工に残る活動です。みなさんが教室の窓から進捗状況を見るのも楽しいと思いますよ。土木研究部のみなさん、頑張ってくださいね。ちなみにYouTubeかさこうチャンネルに作業工程を第3話まで配信しています。高校生の活動としてはスゴイと思います。世界に配信！！



放課後になると、中庭で土木研究部の作業が始まります。でも、ワイガヤガヤすることもなく、黙々と作業をしています。そのため、取材を逃すばかり。残念！

今年も清掃ボランティアを 頑張りました

6月9日（水）午後、1、2年生は地域の清掃ボランティアを行いました。年に2回行っている清掃ボランティアですが、どのクラスもしっかりと清掃をしていました。地域の方から声を掛けられながら、楽しく清掃をしていましたね。清掃活動の様子は笠工ブログとYouTubeかさこうチャンネルで発信されています。みなさんも見てくださいね。



今立川の土手をM2の生徒たちが清掃しています。みんな楽しそうに清掃している姿を見ると笠工生のレベルは高いなって思います。

未来のイクメンが 育っています

2年生の家庭基礎の授業では保育についての学習で、実際に妊婦の方の大変さや新生児に触れる体験をします。お腹に重りをつけて日常生活をしたり、本当の新生児と同じ重さの人形のおしめを変えたりします。男子の多い工業高校ですが、新生児の人形を触る姿は本当に繊細です。工業高校の生徒は、みんな優しいんですよ。この授業を通して、女性の大変さや子どもの可愛さを知ることができました。きっと未来のイクメンになってくれることでしょう。この模様はYouTubeかさこうチャンネルで配信予定です。楽しみにしていてくださいね。



工業高校って、未だにヤンキーがいるのって言われますが、いるわけがない。こんな優しい生徒たちばかりですから。